

## 森林造成の低コスト化への取組-コンテナ苗植栽試験-

大船渡管内における森林造成に関する課題の一つに、再造林率(28%(H21))の向上が挙げられます。そのためには、森林造成コストの低減が必要であり、一例として、コンテナ苗の活用が期待されています。

そこで、11月16日に、森林整備(協)大船渡支部の主催でコンテナ苗の植栽試験が実施されました。本試験には、気仙地方林業振興協議会の補助金が活用されており、主催者と協議会事務局の綿密な打合せを経て開催に至りました。

当日は、苗木生産者、現場作業員、市、森林組合、振興センター職員等、約30名が参加し、コンテナ苗と実生苗の植栽時間の比較検証や意見交換等が行われました。

今回の試験では、コンテナ苗の植栽時間は、通常の実生苗より、約3割短縮されました。

※詳細は、「いわての林業12月号」をご覧ください。

今後は成長量調査、植栽密度、保育方法等の検討を通じて、森林造成の低コスト化への取組みを支援する予定です。

### ★★★★コンテナ苗★★★★

- ・ココナッツハスク、もみ殻等を培土にし、専用容器で育てた苗
- ・植栽作業の省力化に期待
- ・下刈回数の減少に期待
- ・初期成長が良好
- ・苗木代は割高(現在は)

